

# 令和4年度 東京都立桜町高等学校経営計画（全日制課程）

東京都立桜町高等学校  
校長 門 馬 誠

## I 目指す学校

### 1 スクール・ミッション（期待される社会的役割、学校の使命、目指すべき学校像）

「自主強調、質実勤勉、進取独創、経営礼譲」を教育目標とし、進学を重視した分かりやすい学習指導、希望進路を叶える進路指導、ルールとマナーを重んじる生活指導、活発な部活動と学校行事を中心とした教育活動を通じて、心身ともに健康で、自主的精神に満ちた国際社会に貢献できる生徒を育成します。

### 2 グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

- (1) 問題・課題を自ら見つけ、解決策を実行し、振り返りを行うことによって自己肯定感を高める力
- (2) 確かな学力を身につけ、自ら将来設計し、自らの社会での役割を追究できる力
- (3) 多様性を共有・理解し、グローバル社会で他者と協力しながら共に生きる力

### 3 カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

- (1) 1・2学年では基礎的・基本的な学力を身につけさせる。国・数・英で習熟度別学習を行う。
- (2) 2学年で自分の進路実現を踏まえた文系理系の科目選択を指導する。
- (3) 3学年では大学受験を重視するとともに、進路希望に対応した多くの自由選択科目を確保する。  
私立文系・私立理系・国公立大学の受験に対応する科目を確保する。

### 4 アドミッション・ポリシー（入学者の受け入れに関する方針）

「進路指導の充実等、教育環境の向上を図る、地域に信頼される進学校」に適した生徒が望ましい。

- (1) 校訓・教育目標に共感し、本校入学に対し強い意志を持った生徒
- (2) 集団生活のルールとマナーを守ることができ、他の人を思いやる心を持った生徒
- (3) 各種行事・委員会・生徒会活動・部活動等の特別活動に対して積極的に取り組み、学校生活の充実を図る生徒
- (4) 四年制大学等、将来に向けて目的意識を持ち、本校での学習を自らの進路実現に生かすよう努力する生徒
- (5) 良好な学習習慣を備え、入学後は基礎学力を充実させ、国際理解教育等発展的な学習に意欲的に取り組める生徒

## II 中期的目標と方策

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大対策が続くなか、学習指導要領の改訂に伴う教育課程の再構成、オンライン学習をはじめとする ICT 機器を活用した教育活動等、大きな変化が始まる初年度となる。「伝統ある進学校」として実績と生徒・保護者・地域の人々からの信頼性を高めるために、「進路実現の桜町」の看板に恥じることなく、生徒一人一人が充実した高校生活を送り、将来への展望に基づいた大学進学希望が叶えられるよう、全教職員で現状の体制を検証し、改善し、スクール・ミッションの実効化を図る。

### 1 学習指導

- (1) 進路実現に必要な学力・資格を身につけさせる「分かる授業」を、習熟度別授業・少人数指導など内容・活動の創意工夫で展開し、生徒の資質能力の向上を図る。
- (2) 放課後等や土曜日、長期休業日中に補習・講習を実施するとともに、学習コンテンツ等を活用した家庭学習を積極的に画策し、自分のために必要な学力養成力を育成する。

### 2 進路指導

- (1) 1学年より3年間を見通したキャリアデザインの計画を踏まえ、組織的で系統的、かつ丁寧な進路指導を行う。
- (2) 可能な限り将来に関する視野を広げるために、上級学校見学を早期から実施し、進路意識を高める。
- (3) 進路実現に必要な学力増強に向けた補習・講習や資格検定講習を、組織的に行う。

### 3 生活指導

- (1) 生徒指導指針に基づき、基本的な生活習慣や社会規範を身につけさせ、他者を思いやる心と自律的な行動がとれる生活態度を育成する。

- (2) 挨拶の励行、遅刻防止や頭髪、服装等の指導を継続して行い、落ち着いた学習・生活環境を維持する。

#### 4 特別活動

- (1) 生徒の適性や実態を把握し、一人一人の個性を活かしつつ、達成経験を積み、課題解決に対する自信の構築を図る特別活動を展開する。
- (2) 学校行事・生徒会活動、部活動等に生徒全員が積極的に取り組み、集団の一人として責任や課題解決が担える人材になるよう育成する。

#### 5 国際理解教育

- (1) 中国北京滙文中学校との姉妹校提携事業を推進する。
- (2) 英語教育を推進し、国際化する社会で活躍するための基礎的な能力と態度を育成する。
- (3) 多様な言語や異文化を理解・尊重し、平和な国際社会づくりに寄与できる人材の育成を図る。

#### 6 地域連携

- (1) 近隣教育機関、世田谷区教委、地域商店街や町内会等との活発な連携を通じて、地域を大切にする校風を維持する。

#### 7 広報活動

- (1) 年間を通して積極的にホームページ・説明会等を活用した学校広報や募集活動に努め、本校の特色を理解し意欲ある入学希望者を確保する。
- (2) 今一度本校の特色ある活動を検証し、桜町高校の魅力を適切に発信できるようにする。

#### 8 学校運営

- (1) 担当部署が企画・立案・運営母体となり、実働は全教職員で担当する組織体制を浸透させる。
- (2) 個々の教職員のライフ・ワークバランスに配慮した組織運営を推進する。
- (3) 学校経営計画に基づく予算編成・施設管理・学事・教育環境整備などを担う経営企画室の機能を、有効に活用した学校運営を推進する。

### Ⅲ 今年度の取組目標と方策

新しい学習指導要領に即した教育課程の実施年度となり、オンライン学習等新たな学習ニーズに対応した教育活動が組み込まれるため、従前の本校の教育活動の検証に努めるとともに、次年度以降での改善点を抽出し、可能な部分から改善を図る。

#### 1 学習指導

- (1) 1学年では9月までに中学までの既習事項の定着を図り、自分の将来の進路実現に向けて必要な学力や資格について授業を通して自覚するよう、授業展開上の創意工夫を試行する。
- (2) 2学年では卒業後の進路先で必要な学力・資格を確保するために、放課後・休業期間の補習や講習の活用、家庭での学習コンテンツ等を活用した学習など、授業と合わせて学力向上に取り組ませる。
- (3) 3学年では進路先に進める学力・資質・能力を獲得するよう取り組ませるとともに、進路決定後も学び続けることの意義を理解し、自らの学びを継続させる創意工夫を試行する。

#### 2 進路指導

- (1) 進学指導研究校の指定を受け、進路指導部を中心とした模試分析会及びケース会議を開催し、分析結果を教科会で共有後、教科として組織的に授業改善に取り組む。
- (2) 進路指導部が中心となって学年及び各教科が連携を図り、1年次からの意図的・計画的な進路指導体制を構築し、大学入学共通テスト等入試に対応した指導体制を強化・整備する。
- (3) 計画的に進路実現に必要な学力の定着と応用力を高め、受験対応力の向上を図り、進学校としての実績伸長を目指す。
- (4) 1学年などもオープンキャンパス等の活用等を通じて、高大連携を推進し、進学の動機づけを図る。

#### 3 生活指導

- (1) 生徒指導指針に基づき、挨拶の励行の浸透、服装・頭髪指導、遅刻防止指導や駐輪指導等を実施し、

「穏やかで明るい学校環境」を維持し、基本的な生活習慣の確立を目指す。

- (2) セーフティ教室（交通安全や薬物乱用防止等）を開催し、健全な社会観を育成する。
- (3) スクールカウンセラーを活用した教育相談体制を整備し、担任・学年・生活指導部間の連携を高め、生徒理解を進め、健全育成、生命尊重の指導、心のケアに組織的に取り組む。
- (4) 施設・設備の保守管理並びに美化活動を重視し、教育環境の改善に努める。
- (5) いじめの総合対策に基づき、いじめの未然防止、早期発見、早期対応に取り組む。

#### 4 特別活動

- (1) 学校行事や生徒会活動等において、生徒の主体性や参加意欲、成就感を育て、桜町高生としての自覚と帰属意識を高める。
- (2) 多くの生徒の部活動への加入を推進し、部活動を充実させる。部活動中の事故や体罰防止に努める。
- (3) 読書月間等を活用してビブリオバトル等読書活動・図書館指導の充実を図り、コミュニケーション能力の育成に努める。

#### 5 国際理解教育

- (1) 北京滙文中学校との姉妹校交流事業や北京における中国研修旅行の実施を通じ、相互交友事業を充実・発展させる。また、2・3学年選択科目に「中国語」を設置し、多文化理解を推進する。
- (2) 英語教育を推進するために、TGGの活用、ブリティッシュヒルズ研修、ALTやJETの活用等、機会をとらえて国際理解教育を推進する。

#### 6 健康づくり

- (1) 生徒個人の心や体の状況を把握し、発達段階に応じた健康づくり・体力向上を目指す。
- (2) 体罰根絶・いじめの未然防止、早期発見、早期対応に取り組むため、「体罰根絶に向けた総合的な対策」や「いじめ総合対策」に基づき、学校全体として組織的取組を推進する。
- (3) 自殺対策に資する教育を推進する。学業や生活面についての相談活動を継続して行うとともに、家庭と連携して生徒の心のサインを見逃さない生徒指導を推進する。

#### 7 地域連携

- (1) 深沢中学校との「中高連携合同研修会」を継続実施する。また、他の中高連携や広大連携も推進する。
- (2) 地域商店街や町内会主催の地域行事、地域美化活動等を通して、地域を大切にす校風を維持する。

#### 8 学校運営

- (1) 各分掌・学年・企画室責任者間で企画調整会議前に案件整理・事前協議を行い、企画調整会議にて案件整理・全体周知を図り、職員会議にて全体周知確認・最終判断という進行管理に努める。
- (2) 各教職員のライフ・ワークバランスを意識した校務への取り組みを配慮し、各自が校務達成のための時間管理を図れるように助言支援する。
- (3) 経営企画室職員は各分掌・学年からの予算執行の調整を行うとともに、学事・契約等の運営機能が十分支障なく動くように、担当ごとに点検しながら業務にいそむ。

#### 9 広報活動

- (1) 全校を挙げて取り組み、学校見学会や学校説明会、部活動体験入部、授業公開、中学校訪問、出張授業等を通して、本校の教育活動や進路実績を積極的にPRして志願者数の確保を図る。
- (2) ホームページ発信数を増やし、学校案内の配布などと併せて幅広く効果的な情報発信を行う。

#### 10 校内研修

- (1) 大学入学共通テストへの対応や新学習指導要領に基づく教育課程編成研修、授業力向上のための教員相互の授業見学及び研究協議を行う。また、他校の授業公開や研究協議会に参加し、全教職員で授業改善を図る。
- (2) 進路指導、特別支援教育、生徒指導、服務事故防止等に関する校内研修を実施し、全教職員の資質向上と共通理解を図る。

#### 11 デジタル技術を活用した教育の推進

- (1) オンライン学習や調べ物学習等、タブレット端末等を活用した授業展開や教育活動を推進するにあたり、教職員への研修を導入する。
- (2) 対面授業と補足的な ICT 活用の学習支援のハイブリッド体制を組織的に構築する。

## 本年度の数値目標

今年度取組目標と方策 (数値目標)	
<b>1 学習指導</b>	
(1) 各学年の2回の実力テスト等での成績の向上率	10%
(2) 授業外での全生徒の学習時間	週当たり4時間
<b>2 進路指導</b>	
(1) 各学年と進路部にて開催	模試分析会年2回 ケース会議年2回
<b>3 生活指導</b>	
(1) 全生徒「遅刻0の日」	年間3回
(2) 全生徒「服装・頭髪指導0の日」	年間3日
<b>4 特別活動</b>	
(1) 都大会ベスト3 2進出	3団体以上
(2) ビブリオバトル等個人での大会等参加	5人以上
<b>5 国際理解教育</b>	
(1) 次年度「中国語」選択者確保	20名以上
(2) TGG・BH等の研修参加者	100名以上
<b>6 健康づくり</b>	
(1) 体力テスト 前年度比向上項目	2つ以上
(2) 年間のいじめ案件	0件
<b>7 地域連携</b>	
(1) 地域自治体等の活動に参加	2回以上
<b>8 学校運営</b>	
(1) 服務事故等学校運営上の課題	0件
<b>9 広報活動</b>	
(1) 部活動体験・見学会・説明会等来校中学生数	年間で1,000人
(2) ホームページの更新回数	年間で250回以上
<b>10 校内研修</b>	
(1) 服務防止研修等必要な校内研修	年3回以上
<b>11 デジタル技術を活用した教育の推進</b>	
(1) ICT 機器活用による授業研究協議 (各教科で実施)	年2回